



第146号
 編集と発行
 中部農業改良普及センター
 〒904-2155 沖縄県沖縄市美原1丁目6番34号
 (沖縄県中部合同庁舎2階)
 電話 098-894-6521
 F A X 098-937-2502

中部地区から4名の新たな農業士が認定されました！



↑ 高江篤史氏 ↑ 上地一樹氏 ↑ 喜納忍氏 ↑ 小橋川弘成氏

「指導農業士・女性農業士・青年農業士」の認定制度は、農業技術に優れ、地域農業振興に尽力されている農業者を地域農業の実践的指導者として、沖縄県知事が認定する制度です。
 令和4年度は中部地区から女性農業士1名、指導農業士3名が新たに認定され、長年の指導農業士としての功績から名誉指導農業士として1名が承認されました。

●指導農業士 高江 篤史 (うるま市)

高い栽培技術力を評価されており、マンゴーの販売促進活動や地区内外からの現地検討や視察受入研修など協力的に取り組み、地域農業振興活動に尽力されている。

●指導農業士 上地 一樹 (読谷村)

農業経営管理能力の向上に努め、地域優良農家として、地域から信頼され、JA おきなわ読谷花き部会の会長を歴任し、組織リーダーとして組織活動を牽引し貢献されている。

●女性農業士 喜納 忍 (沖縄市)

飼育環境や防疫衛生管理の改善を図り、他農家の模範となる農業経営者である。学校での調理実習支援活動や、「地産地消」の啓発活動など、地域農業振興活動に尽力されている。

●指導農業士 小橋川 弘成 (西原町)

JA おきなわ西原青壮年部の会長を歴任し、組織活動を牽引し貢献する。地域において、食育支援に積極的に活動され、地域支援活動に尽力されている。

★名誉指導農業士 国吉 真光 (読谷村)

「読谷メロン」の先駆者的存在である。地域の新規就農者の相談役として、担い手の育成や遊休地解消等地域農業振興に長年貢献された。

(普及企画班 座喜味 利将)

「サツマイモ基腐病」の対策はできていますか？

「サツマイモ基腐病（以下、基腐病）」は、葉の黄変や、地際部の茎が黒く変色することで発見されることが多い病気です。基腐病がイモにまで進行するとイモは腐敗してしまい、圃場全体に広がると甚大な経済的被害を被る可能性があります。基腐病対策の基本は、圃場に病原菌を「持ち込ませない」ことです。しっかりと対策をしましょう。

持ち込ませないポイント

- ☑基腐病が発生した圃場からは苗を取らない。
- ☑健全な苗を確保するために、未発病の圃場を苗畑として管理する。
- ☑植付ける前にはフロンサイド（SCもしくは粉剤）*の土壌散布、ベンレート水和剤による苗消毒を行う。



基腐病によるイモの腐敗



地際部の黒変・腐敗

※2022年3月よりフロンサイドSC・粉剤が基腐病に適用拡大されました。

農薬名	10a当たり使用量		使用時期	使用方法	本剤およびフルアジナムを含む農薬の総使用回数
	薬量	希釈水量			
フロンサイドSC	500ml	200L	植付前	全面散布土壌混和	1回
フロンサイド粉剤	40kg		植付前	全面土壌混和	1回

万が一基腐病が発生したら、「増やさない」、「残さない」

もしも圃場で基腐病を確認したら、病原菌を圃場で「増やさない」、圃場に「残さない」ことが重要になります。

増やさない、残さないポイント

- ☑排水対策の実施。
- ☑定期的な薬剤散布による予防*。
- ☑発症した株を発見したらすぐに抜き取り、早期に収穫する。
- ☑収穫後の残渣は圃場外に持ち出す。
- ☑早期にすき込み、速やかな分解を促す。
- ☑**連作を避ける（重要）。**



※ 基腐病予防に使える主な薬剤

農薬名	倍率、使用方法	回数	時期
Zボルドー	500倍液、散布	制限無し	収穫前まで
ジーファイン水和剤	1000倍液、散布	制限無し	収穫前まで
アミスター20フロアブル	2000倍液、散布	3回以内	収穫14日前まで
トリフミン水和剤	2000~3000倍液、散布	2回以内	収穫前日まで

九州・沖縄地区青年農業者会議意見発表の部 最優秀賞受賞 九州代表に決定

令和4年度九州・沖縄地区青年農業者会議（全国農業青年交換大会 in 福岡）が1月19、20日に開催され、中部地区農業青年クラブの津波古陽一氏が意見発表の部沖縄県代表として出場しました。「新規就農、農福連携、スマート農業のススメ」と題し発表を行い、最優秀賞と九州農政局長賞を受賞、3月開催の全国青年農業者会議の九州・沖縄地区代表に決定しました。

発表では、今年度より採用されたスライドを用いた方法を取り入れ、視覚的にも発表内容の世界観が伝わる工夫を行いました。審査員より「苦勞とやったことがよく伝わり、新規就農者の参考となる良い発表だった」と講評をいただきました。

大会発表はYouTube 配信され、中部地区の青年クラブ員・普及センター職員がリアルタイムで視聴することができ、代表決定後「他の発表者の分まで全国大会頑張ります」と嬉しい報告ができました。

発表内容・スライドのブラッシュアップを図り、全国青年農業者会議に向けて準備を進めていきます。



(普及企画班 椎葉 有紀美)

おきなわ花と食のフェスティバル2023

令和5年1月21日(土)～22(日)に「おきなわ花と食のフェスティバル2023」が対面開催としては4年ぶりに開催され、花き品評会にて中部地区から2名が金賞を受賞しました。

第35回花き品評会

金賞(農林水産省農産局長賞)
山内 慶子 氏
(読谷村 薬物部門 ドラセナ(青))

金賞(一般財団法人沖縄美ら島財団理事長賞)
新垣 勝信 氏
(うるま市 ラン部門 キーンピンク)

受賞されたみなさま、大変おめでとうございます。今後とも、中部地区の農業振興にご協力をお願いします。

(農業技術班 宮城 明生)

おきなわ花と食のフェスティバル2023 中部地区入賞者				
	賞名	受賞者	市町村	品目名
花き	農林水産省農産局長賞	山内 慶子	読谷村	ドラセナ(青)
	沖縄美ら島財団理事長賞	新垣 勝信	うるま市	ラン
	銀賞	外間 貴光	うるま市	小ざく
		横田 正彦	うるま市	小ざく
		与那嶺 悟	沖縄市	スターチス
		山内 慶子	読谷村	ドラセナ
	銅賞	外間 直子	うるま市	小ざく
		横田 秀美	うるま市	小ざく
		平良 幸喜	うるま市	小ざく
		伊波 薫	うるま市	ドラセナ (インディアナ)
		伊波 薫	うるま市	ドラセナ (ジャマイカ)
		山内 清英	読谷村	ドラセナ (シャンデリアーナ)
		山内 清英	読谷村	ドラセナ (キュー・アム・ファイター)
		比嘉 悟	読谷村	観葉鉢物
稲嶺 盛一	嘉手納町	観葉鉢物		
野菜	銀賞	山城 隆	うるま市	食用菊
	銅賞	石原 昌俊	西原町	キャベツ
		安里 昌治	中城村	島にんじん
		金城 盛勝	うるま市	セルリー

北中城村におけるパッションフルーツ産地育成

令和2年度より北中城村において、地域農業振興総合指導事業を導入し、①産地支援体制の確立と産地リーダーの育成、②パッションフルーツ産地育成、③地域資源を活用した収益力の向上の「3つの課題」を設定し、関係機関と連携のもと総合的な支援を行ってきました。

1 産地支援体制の確立と産地リーダーの育成

関係機関と総合指導チームを定期的に開催し、事業推進上の課題や問題点を共有しながら課題解決に取り組みました。

リーダー研修会では、「県内パッションフルーツ産地の生産状況及び和歌山県での栽培状況」（営農支援課 農業革新支援専門員 松村 まさと）をテーマに講話を行い、農家及び関係者33名が参加し、知識の習得を図りました。



総合指導チーム会議



リーダー研修会（講話）

2 パッションフルーツ産地育成

展示ほを2カ所設置し、「パッションフルーツ1枝あたり着果個数が収益性に及ぼす影響調査」、「露地パッションフルーツの高畝による排水対策と電照栽培における収益性の検討」の実証を行い、現地検討会を通して栽培技術の普及を図りました。

また、排水性の悪いほ場において、立ち枯れ対策の接ぎ木講習会を実施し、接ぎ木を実践しながら技術の習得に取り組みました。



展示ほ現地検討会



接ぎ木講習会



関係機関合同巡回指導

3 地域資源を活用した収益力の向上

去る1月22日に、奥武山公園で開催された「花と食のフェスティバル」では、北中城村でパッションフルーツの商品開発に取り組んでいる起業者が出展し、新商品「パッション珈琲ソーダ」のテストマーケティングが行われました。



「パッション珈琲ソーダ」のPR

地域農業振興総合指導事業3年目にあたり、次年度支援対象地域の選定を行った結果、引き続き、北中城村のパッションフルーツを対象に実施していくことになりました。

令和5年度も関係機関が一丸となり、パッションフルーツ産地育成の課題に取り組んでいきます。
（普及企画班 川満 雅子）